豊田工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	歴史特論Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	04109	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	電気・電子システム工学科	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	なし／２年、3年の歴史Ⅰ、Ⅱで用いた教科書、タペストリーを参照することが望ましい		
担当教員	早坂 泰行		

到達目標

(ア)「冷戦」時代の特徴について理解できる。
(イ)「冷戦」時代の日本の位置づけについて理解できる。
(ウ)核兵器が人類の歴史に与えた影響を理解できる。
(エ)「冷戦」時代と現代社会の関係について理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	「冷戦」時代の特徴について理解し、説明できる。	「冷戦」時代の特徴について理解できる。	「冷戦」時代の特徴について理解できない。
評価項目(イ)	「冷戦」時代の日本の位置づけについて理解し、説明できる。	「冷戦」時代の日本の位置づけについて理解できる。	「冷戦」時代の日本の位置づけについて理解できない。
評価項目(ウ)	核兵器が人類の歴史に与えた影響を理解し、説明できる。	核兵器が人類の歴史に与えた影響を理解できる。	核兵器が人類の歴史に与えた影響を理解できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	第二次世界大戦の終結後、核戦争の恐怖の下に、米ソ二大国が世界を支配する「冷戦」の時代が始まった。だが1989年にベルリンの壁が崩れ、冷戦体制は終えんを迎え、ソ連も崩壊した。その後アメリカ一極体制に移るかに見えたが、中国など新興国の台頭により、混迷の時代を迎えつつある。_x000D_ 本科目では、現代の国際情勢を理解するため、改めて「冷戦」の時代について講義を行う。
授業の進め方・方法	
注意点	授業内容の理解のため、予習、復習を欠かさないこと。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション　「冷戦」の時代について	「冷戦」の時代の概要について理解できる。
		2週	社会主義国家ソ連の成立と勢力拡大	社会主義国家ソ連の成立と勢力拡大について理解できる。
		3週	第二次世界大戦	第二次世界大戦と米ソ関係について理解できる。
		4週	戦後処理と「冷戦」の始まり	第二次世界大戦の戦後処理と「冷戦」の始まりについて理解できる。
		5週	戦後処理と「冷戦」の始まり	第二次世界大戦の戦後処理と「冷戦」の始まりについて理解できる。
		6週	アジア諸国の独立	第二次世界大戦後の植民地の独立について理解できる。
		7週	「雪どけ」の時代と第三勢力の形成	「雪どけ」の時代と第三勢力の形成について理解できる。
		8週	「雪どけ」の時代と第三勢力の形成	「雪どけ」の時代と第三勢力の形成について理解できる。
	2ndQ	9週	日本の復興	「冷戦」体制下における日本の政治と社会について理解できる。
		10週	日本の復興	「冷戦」体制下における日本の政治と社会について理解できる。
		11週	「冷戦」体制下の紛争	「冷戦」体制下でおきた紛争について理解できる。
		12週	「冷戦」体制下の紛争	「冷戦」体制下でおきた紛争について理解できる。
		13週	「デタント（緊張緩和）」の時代	「デタント（緊張緩和）」の時代が到来した原因とその影響について理解できる。
		14週	社会主義体制の動揺と崩壊	社会主義体制の動揺と崩壊についてその原因を理解できる。
		15週	前期のまとめ	冷戦体制の構造を俯瞰的に理解することができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	定期試験	課題	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100